

# なわブツシュ ニュース

Vol.1  
15. January 2014

Nawate-Meerbusch News



この通信は、平成22年に国際友好都市提携を結んだドイツ・メアブッシュ市と四條畷市との交流や、メアブッシュ交流サポーターさんの紹介、ドイツやメアブッシュ市に関わるトピックスなどを紹介するものです。



↑メアブッシュ交流サポーターのみなさん

### ーメアブッシュ交流サポーターとは？ー

メアブッシュ交流サポーターは、国際友好都市ドイツ・メアブッシュ市との理解と友好関係を深め、新たな国際交流を市民と協働で推進していくため、市が募集しているものです。

「国際交流に興味がある」「ドイツが好き」「メアブッシュ市に住んでいた」「交流をしたい」「ドイツ語を勉強している」など、関心がある人はぜひ『メアブッシュ交流サポーター』に登録しませんか？

活動内容は、各種事業やイベント等でのメアブッシュ市の紹介や啓発、交流に向けた具体的な企画会議や周年事業等への参加、メアブッシュ市民との市民レベルの交流事業の企画・実施などです。（ご自身が活動できる内容や分野で、可能な範囲でのご協力をいただいております。）一緒に楽しく国際交流を盛り上げましょう♪

くわしくは、市ホームページをご覧ください。市役所地域協働課までお問い合わせください。

### メアブッシュ交流サポーター・四條畷市（地域協働課）

《サポーター／この号に関する問合せ》四條畷市地域振興室地域協働課

TEL: 072-877-2121 / 0743-71-0330

FAX: 072-879-5955

E-mail: jitishin@city.shijonawate.lg.jp



みなさんこんにちは。2004年夏から2009年春までメアブツシュ(Meerbusch Osterath)に住んでいました。高田奈津子です。

現在、四條畷市のすぐ隣の生駒市に住んでいます。2010年にドイツの友人から友好都市になると聞いて嬉しくて舞い上がる気持ちでお手伝いを名乗りあげた事を覚えています。この通信を通じて皆さんに少しでもメアブツシュの素晴らしさをお伝えできればいいなと思っています。

また、メアブツシュで頑張っておられるたくさんの方々の方々にも遠い日本から交流を通じて故郷に思いを寄せてもらえれば嬉しいです。

《メアブツシュ交流サポーターになって》

筆者：富山さん



私は現在、和紙を使用した照明作品をつくり、さまざまな場所で個展活動をしておりますが、メアブツシュ交流サポーターに入会したのをきっかけに、メアブツシュ市との芸術交流などもできればと考えています。

そして、子どもからお年寄りまで、ものづくりの楽しさを共有することのできる企画・イベント・場を提供することに尽力したいなと思います。

例えば、ドイツにはデザイン性が高いうえに環境に優しい玩具や子どもが使う文房具があったり、その商品の収益の一部を子どもたちのための基金の寄付に充てたり、その後のリサイクルなど、本当によく考えられています。



その辺りを知ってもらったり、紹介したりすることで、環境と共に生きるデザインというものを同時に学んでもらえるのではないかと思います。

子育て総合支援センターにはドイツのおもちゃもたくさんあり、活用できると思いますし、色鉛筆や画材は難しいかもしれませんが、ワークシヨップという形で何か企画できれば面白いかなと思います。

また、小さな子どもをもつ親として、ドイツのような生活に密着した環境や自然について、楽しく学んだり、料理・遊びなど、さまざまな角度から好奇心を持って、子ども一人一人が自分で考える力や心と体のバランスの良い成長をサポートできるようなイベント、企画を提案できればと思っています。

そのほか、ドイツという国の文化を深く知ることで、さまざまな活動に対するアイデアや、企画へつながっていくと思いますので、学べる勉強会や講義などを増やしていくともうえたら嬉しいですし、他国の文化を理解したうえで交流し、活動していくということは、結果、自分たちの住んでいる町のこと、自国の素晴らしい文化の再発見につながっていくのではないかなと思います。

四條畷市は、公園は少ないですが、森や山、自然が多いので、森と共に生きるドイツの文化を疑似体験できるようなものを企画してみても面白いのではないかなと思います。また、四條畷市にある里山を利用してみるのも一つの案かもしれません。

## メアブツシュのおもいで



ドイツの冬は、11月にスノータイヤに交換する頃から始まります。

メアブツシュでほとんどのお店は英語が通じるのですが、車工場の技術者にはドイツ語しか通じなかったりで、渡独当初は予約を取るのも値段を聞くのもアタフタしたので、年2度あるタイヤ交換の時期はストレスでした。

ちなみに…冬に交通事故などで保険請求する場合、スノータイヤでの走行でなければ保険金がおらないとか！

家庭では、防寒対策がしっかりなされているドイツ。トイレや浴室まで「ハイツング」というセントラルヒーティングのパネルが入って24時間温かいお湯などが流れており、冬でも快適に過ごすことができるため、子どもは家の中では半袖だったりします。朝方、布団から出ている鼻の頭が冷たくて目が覚める…なんてありません。メアブツシュに住むことが決まった時に、分厚い布団やパジャマを買い込みましたが、あまり必要ありませんでした。

そうは言っても、外は極寒。日本ではいいお天気だと冬でも外で洗濯物を干せるし、布団までホカホカにしてくれますよね。…ドイツではまずありません。外に洗濯物を干すこと自体外観を損なうので非常識なこととされていますし、外にものを出していると、冬は凍ってしまいます。

冬にゼリーやプリンを作るときは、冷蔵庫に入れずテラスに出していれば自然にできあがるので、便利なおもいもありました。

冬はめったに太陽の光を目にできず、暗く寒い毎日が続きました。だから思いっきり楽しく明るいクリスマスマルクトやカーニバルが行事としてあるんですね。



今回は、メアブツシュ市にお住いの経験のある高田さんから、メアブツシュ市での「冬の体験」をご紹介します。冬は寒いイメーシのヨーロッパ。さて、どのように冬を過ごすのでしょうか…？



ここでは、メアブッシュ交流サポーターのみなさんからのメッセージを紹介します。 **Auf geht's!**

《サポーターに参加して》



筆者：神津さん

私が、メアブッシュ交流サポーターに参加したのは、とにかく、海外が大好きなんです。

子供のころからハリウッド映画を観て育ち、18歳の時に初めて溜めたお小遣いでアメリカに旅行に行きました。それから20年ちよつとの間に13か国訪れています。残念ながら、ドイツには今まで縁がなかったのでしょうか。まだ訪れたことがないので今学んでいるところです。

大阪には2006年に主人との結婚、そして主人の転勤でやってきました。それまでは、シンガポールにある日系企業に勤めておりました。大阪に来てからは、子育ての毎日日本でドツプリの生活、1年に1度は自分にご褒美と娘を連れてシンガポールに遊びに行かせてもらっています。

そんな時に、広報でドイツ料理教室を見つけて参加させていただきました。久々に海外に触れられて、イキイキとした気分にならせていただき、その場でサポーターに参加することを決断しました。ドイツ語もできませんし、ドイツの事も知らない私に何ができるかわかりませんが、他のサポーターの皆様と楽しいことが一緒にできたらいいなあと思っています。

いつかこの四條畷市にドイツ人が住み、(他の外国の方も歓迎)小さなドイツ村ができたら素敵ですね。そこには、ドイツのカフェやパン屋さん、レストランがあって、まるでドイツにいるような自然が美しい街並みの村ができたらと思います。



《私とドイツの出会い》



筆者：安井さん

私とドイツの出会いは、1976年。

商用でデュッセルドルフを訪れた際、休日はケルン・ボンに行き、大聖堂やベーター・ベン館を見ることができ、感銘を受けました。

そのためか、30年前に大阪第九合唱団に参加、以降毎年3〜4回コンサートに出演し、累計94ステージになりました。

大阪では、毎年大阪城ホールで行われる恒例のコンサートにも連続参加しています。オーケストラ220名、合唱10,000名によるコンサートは、世界記録のようです。

メアブッシュ交流サポーターとしては、市民の集いに出席するメアブッシュ市の紹介ブースの手伝いをしたり、市で行われるドイツ理解講座に参加しています。

## ♪ちよこっとドイツ語♪

ドイツ語には、さまざまな「こんにちは！」があります。

よく耳にするのは、Guten Tag (グーテンターク)ですが、よりカジュアルな Hallo (ハロウ)という言い方もありますし、北の方では Moin Moin (モインモイン)、南の方では Grüß Gott (グリュースゴット)や Grüß dich (グリュースディヒ)、スイスの方では Grüezi (グリュエツィ)という言い方をしたりします。

9つの国と国境を接し、それぞれの地方で独特の文化が根付いたドイツならではのかもしれません。皆さんも、ドイツに行ったら、このあいさつを使ってくださいね♪ それでは、**Tschüs!** (チューウス:またね)

《強力な助っ人》



筆者：菊池さん

四條畷市が、「ドイツのメアブッシュ」という「市と友好都市に。これを聞いた時、耳慣れない名前に戸惑った記憶があります。ヨーロッパにまだ行ったことがない私。その頃は地図上のドイツの位置さえ不確かでした。それでも、国際交流に興味があったので、交流サポーターになり、あまり実感がわかないまま、市の交流関係のお手伝いに参加していくうち、強力な助っ人があらわれたのです。

——お隣の生駒市に住む、元メアブッシュ住人・高田奈津子さん。4年半を過ごし、愛してやまないメアブッシュと隣の市が友好都市に：と聞いて協力を申し出てくれたそうです。日本人が多く住むメアブッシュですが、日本での知名度というところがかなり低いのが正直なところ。でも、同年代で、同じ家庭の主婦としてメアブッシュで暮らした彼女と一緒に活動していくうちに、とても身近に感じられるようになったのです。ドイツ料理や生活の体験談などを披露してくれたり、メアブッシュ時代のお友達を紹介してくれたりして、輪が広がっています。

当初からのメンバーで、四條畷市民でメアブッシュ在住経験のある森田寛さんに加え、高田さんの出現により、メアブッシュ理解が大きく前進していることは間違いありません。交流を進めていく中で、他にも思いがけないところでメアブッシュ在住日本人と四條畷市との関係があきらかになったりすることがあり、驚くこともしばしば。

両市間の結びつきは運命的とさえ思えて、これから喜んで、交流のお手伝いをしていけそうです。



# ドイツ・メアブッシュ市の情報



メアブッシュ市	
地域	ドイツ・ノルトライン＝ヴェストファーレン州
人口	約5万6,000人
面積	64.39Km <sup>2</sup> (四條畷市の約3.4倍)
言語	ドイツ語
特徴	<p>◎1970年に8つの村が合併して誕生。そのため、地区ごとに多様な文化を持つ。</p> <p>◎市内外に日系企業が多く進出しているため、市内に日本人が約800人在住。(全体の外国人住民は約5,600人)</p> <p>◎ドイツ最長の川、ライン川に面し、対岸へは渡し船を利用することもできる。</p> <p>◎自然が豊かで、市域の3分の2が草原や林などの緑から成る</p> <p>◎ノルトライン＝ヴェストファーレン州の州都、デュッセルドルフ市まで車で約20分の好立地</p>



## イベント情報

### ドイツの料理づくりと メアブッシュのお話



家庭で楽しめる簡単なドイツ料理づくりと、ドイツのチーズケーキづくりを行います♪  
料理づくりの後は、できあがったお料理やフルーツティーをいただきながら、主婦の視点から見たメアブッシュ市の生活体験談をお楽しみください。

- と き:平成26年2月15日(土) 10時30分～12時30分
- 会 場:四條畷市立公民館3階 料理室
- 定 員:24人(先着)
- 持ち物:エプロン、三角巾、ふきん、参加費500円(当日)
- 内 容:本場ドイツのジャーマンポテト、さっぱりやわらかチーズケーキ、香味野菜入りドレッシングのサラダ、フルーツティー
- 申 込:1月15日から1月31日まで電話で  
市役所地域協働課

《イベント/サポーターに関する問合せ》  
四條畷市地域振興室地域協働課  
TEL: 072-877-2121/0743-71-0330  
FAX: 072-879-5955  
E-mail: jitishin@city.shijonawate.lg.jp